

公開講座「共感を広げる手法としてのプレイバックシアター」

私たちは、日常の経験を語り合うことで、お互いを知り合い、信頼関係を作り上げています。プレイバックシアターは、語られた経験を即興で演じるものです。語った人（テラー）は、自分の物語が芝居として再現されるのを観ます。演じる人（アクター）は、語られた物語の中でのテラーの気持ちを想像しながら、即興劇を演じます。そこには深い共感が生まれます。本講座では、体験しながらプレイバックシアターの基礎を学びます。

日時, 会場	内容
【日時】 12月18日(日) 10:00~16:00	「プレイバックシアターのためのウォームアップ」 身体を動かすゲームをしたり、音楽に合わせて動いたりして、演じる準備をします。声と身体の動きで気持ちを表現する練習をします。参加者が関心の高いテーマについて話し、演じることによるコミュニケーションの可能性を探ります。
【会場】 県立広島大学 三原キャンパス (三原市学園町1-1)	「ストーリーを語る, ストーリーを演じる, ストーリーを観る」 プレイバックシアターの中心であるストーリーを語ったり、演じたり、観たりすることを体験します。チーム内コミュニケーションの改善, 小学校でのいじめ防止, 子育て支援, インクルーシブな地域づくりなどのために、プレイバックシアターがどのように活用できるかを考えます。

※昼休憩1時間を含みますので、昼食は各自でご準備ください。

※今回は、プレイバックシアターの入門講座です。動きやすい服装で来てください。

◆講師：県立広島大学保健福祉学部 作業療法学科 教授 吉川ひろみ

◆受講対象者：医療専門職, 小中高等学校教員, 地域ケア会議に関わる方

◆募集人員：20名(先着順)

◆受講料：3,000円

◆修了証：受講者に交付

◆申込方法：公開講座申込書(別紙)をご記入いただき、返信用封筒[※]を同封のうえ、下記へ郵送してください。

※返信用封筒(長形3号:横120mm×縦235mm)に82円切手を添付し、申込者の住所・氏名(様)をご記入ください。受講案内等を送付しますので、お一人様一通の返信用封筒をご用意ください。

申込み締切後、11月下旬頃に返信用封筒にて、受講案内と受講料振込案内等を送付します。

定員に達し、受講できない場合は別途お知らせします。

◆申込締切：平成28年11月18日(金) 必着

◆申込・問合せ先：〒723-0053 三原市学園町1番1号 県立広島大学三原地域連携センター

公開講座「共感を広げる手法としてのプレイバックシアター」係

TEL: 0848-60-1200(直通) 0848-60-1120(代表)

E-mail: mrenkei@pu-hiroshima.ac.jp

◆主催：県立広島大学三原地域連携センター

(別紙)

受講番号 (区分コードNo)

平成28年度 県立広島大学 公開講座 申込書

講座名	公開講座「共感を広げる手法としてのプレイバックシアター」
ふりがな 名前	
現住所	〒
電話	() - 日中の連絡先:
E-mail	
職種	
所属先	

*受講申込に伴う個人情報については、公開講座以外の目的には使用しません。

<主催：県立広島大学三原地域連携センター>